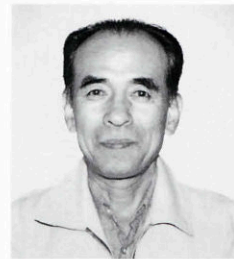




わたしのまちづくり

シリーズ③⑤



沖村清美さん
(小島)

岡村昌幸さん
(湯免)

子供を産み育てる 環境作りを

住む人がいなければ町の発展も地域の発展もない。今、全国的に子供の出生率が低下しているが、特に山口県ではそれが著しく、三隅町も非常に憂べき現状である。昨年の山口県の出生率は8.7%、一人の女性が生涯に生む子供の数は1.54%、三隅町では僅か46人の赤ちゃんしか生まれていない。このままですと人口は自然減少となる。生まれる子供の数よりも、亡くなる人の数の方が多くなるわけである。そんな環境に育つ子供は不幸である。数年前から山口県では「子供の為にもう一人」をキャッチフレーズに元気っ子キャンペーンを展開しているが、思う様には成果が上がらない。若い人達が職を求めて都会へ出たり、女性の結婚年齢が上がったりと、いろいろ原因はあると思うが。

本当に安心して子供を産み育てる環境作りを作りたい。女性が働き乍らでも子供を産む事ができる環境、その子供が十分な教育を受けられる様な環境を望みたいと思う。

できたてのほやほやではあるが、他に誇れるような香月美術館を持つ、美しい町三隅。

私はこの町が大好きである。これからのますますの発展を望み、提言としたい。

三隅町民憲章について 再認識を

町民憲章の事で一言、戦前に三隅村々規が存在、誠に格調の高いものであった事を記憶しているが現在の憲章、これも実に素晴らしく思想・心情を超越した人間としての徳目が凝縮されて居り然も文章平易そして一言半句たりと言えども、おろそかにされていない気くばりが感じられ、これを起草された委員の方々のご苦心の程が何われ茲に改めて最高の敬意を表します。

私は現在、自治会長の職につき4年になるが就任後直ちに自治会会則に「三隅町民憲章を基本理念とする」と云う事をうたい上げた。この憲章は町民の心、又行動の規範であり町政の基本であると思っている。それにしても日本の国の現状は何と云う事か。連日マスコミを賑わしている政治不信の問題、国土建設の名の下に起きている自然破壊、企業優先の政治による種々の弊害、物資の無駄遣いと公德心の欠如による日本列島ゴミの山。その他諸々^{もろもろ}にこの辺で歯止めをかけないと後者の人達に対して顔向け出来ない事になる。考えて見れば我々は稀有なる因縁によって人間として生を受け然も同じ世代、同じ地域に生活を共にしている。私共はこれを大切にしたい。そして過去から未来につなげて行く鎖の一環としての自覚を以て一日一日を大切にしていきたい。町づくりの提言にならぬかも知れぬが敢えて一言呈上。

新刊図書紹介

トレセン図書室より

「岩波世界児童文学集」

・星の王子さま

・サン・テグジュペリ作

・クマのプーさん ミルン作

・魔術師のおい

・C・S・ルイス作

・ホビットの冒険

・トルキン作

・風につてきた

・メアリー・ポピンズ・

・トラヴァース作

・床下の小人たち

・ノートン作

・ムギと王さま

・ファージョン作

※岩波書店の編集による児童文学集(全30冊)が、平成五年四月より毎月2冊ずつ発売されています。図書室では、全巻購入の予定です。

子どもから大人も楽しめる児童文学の名作ぞろいですので、どうぞお楽しみに。

※県立図書館の地域貸出文庫(児童書のみ)を入れ替えましたので、ぜひお立ち寄りください。